

2020年9月15日

## 「MEGURI 2040（無人運航船）に係る安全性評価等事業」の開始について

- （一財）日本船舶技術研究協会は、日本財団の助成を受けて、国立大学法人東京海洋大学と連携し、無人運航船の実用化を支え、その社会への受容性を高め、我が国の海事産業の変革と発展の一助となることを目的として、無人運航船の安全性評価等事業を開始しました。
- 本研究は、日本財団「無人運航船の実証実験に係る技術開発助成プログラム（MEGURI2040）」と連携し、個々の実証船舶に係る安全評価を行い、その際、安全レベルやその評価手法の開発を含む各種課題の解決を図ることとしています。
- この研究のステアリングを行う「無人運航船安全性評価ステアリング委員会」を設置し、その第1回会合を9月8日に開催致しました。

### （実施期間）

- 2020年度から2023年度（4年計画の予定）

### （事業実施内容）

- 「MEGURI2040」に参画する実証実験事業者が実施するリスク解析のモニタリングやレビュー等支援を実施し、自動・遠隔及び自動化レベルを統一して取り扱うリスク解析手法を取りまとめるとともに、「自動運航システム」と「人による遠隔操船システム」で必要となる機能要件を抽出する。
- 安全性評価において、操船シミュレータをツールとして活用するために必要な機能を検討し、総合シミュレーションシステムを整備する。
- 操船や見張り等に係る船員スキルの定量化・基準化のための解析手法を構築し、無人運航システムの安全評価の基盤とする（国立大学法人東京海洋大学 事業）。
- 無人運航船の実施に必要と考えられる安全上の要件を取りまとめ、自動・遠隔及び自動化レベルを統一して取り扱うガイドライン案を作成する。

### （委員構成）

- 委員長である今津隼馬 東京海洋大学名誉教授のもと、委員として、学識経験者・海運・造船・研究機関・その他関係機関の方々にご参加いただき、関係官庁として、国土交通省海事局、港湾局、

海上保安庁に出席いただく。(別紙参照)

本件に関する問い合わせ先 (一財) 日本船舶技術研究協会  
研究開発グループ 宇都、貴島 [TEL:03-5575-6428](tel:03-5575-6428)

(別紙)

委員構成	
委員長	今津 隼馬 国立大学法人東京海洋大学 名誉教授
委員	伊藤 誠 国立大学法人筑波大学 システム情報系 教授 梅田 直哉 国立大学法人大阪大学大学院 工学研究科 教授 大森 彰 一般社団法人日本船主協会 常務理事 海務部長 河合 英直 独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長 清水 悦郎 国立大学法人東京海洋大学学術研究院 海洋電子機械工学部門 教授 庄司 るり 国立大学法人東京海洋大学 副学長 教授 田澤 孝之 日本マイクロソフト株式会社 チーフデジタルアドバイザー 西村 浩一 株式会社東洋信号通信社 顧問 CTO 野本 秀樹 有人宇宙システム株式会社 IV&V 研究センター長 藤浪 幸仁 一般財団法人日本海事協会 技術研究所 所長 古荘 雅生 国立大学法人神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 南 健悟 学校法人日本大学 法学部 教授
関係機関	公益財団法人 日本財団 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 一般財団法人日本海事協会 国立大学法人東京海洋大学 独立行政法人海技教育機構
関係官庁	国土交通省 海事局 国土交通省 港湾局 海上保安庁

(敬称略、委員は五十音順)